

## ほほえみ 第33号



7月は、雨が多くて夏らしくないまま8月を迎えています。こんなに涼しいと、「さんさ踊り」も何か違和感がありますね。涼しいのは良いのですが、夏らしくないというか、お米が育つのか心配になります。ほほえみ読者の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

夏といえば、花火ですが、以前に住んでいた仙台では、広瀬川の近くに住んでいたため、河原に行つてすぐに花火が見えました。盛岡では中心部からはなかなか花火は見えないので、ちょっと残念です。近くで花火の炸裂が空気に伝わる振動を感じると、夏らしい爽快感があるのですが…。

## 書写すること

最近、綺麗な文字を書くとか、写経するとか、テレビにも書道家の方が出演するなど、文字を書くということが注目を浴びていると感じませんか。個人的に文字を書くということに、注意しているからかもしれませんが、思い当たる方も多いと思います。以前から、キレイな字を書くことの必要性は感じているのですが、最近は電子カルテにもなったので、時代に逆行している感じもあり、実行に移せないでいました。

元々、個人的には美しい字を書くといったことは非常に苦手で、綺麗に書けるよりは早く書けることが有用だったのですが、何故か最近、時間がある時に、心がけて筆ペンで書写を行っています。本来であれば毛筆で書くのかもしれませんが、お手軽に極細の筆ペンを使っています。太い筆ペンと違って、極細の筆ペンは、大分、書きやすい印象です。

最初は、言志四録(佐藤一斎)の気に入ったものを写していたのですが、その後、論語を書写しました。論語は何度か読んでいたものの、実際、書いてみると趣が異なることに気が付きました。読んでいる時は、文章が短いので深く考える間もなく、次々と進んでいくので、本来の書物の意味からすると合致しないのだと思います。また、古典の場合、白文を書いていくのと、読み下し文で意味を取るのとは、世界が違ってくるように思います。

実際、書いてみると旧字の良さというの判ります。禮とか、歸とか「複雑な文字を書く楽しみ」みたいなものがあるのですが、書いた字を見ると画数の多い字が少し混ざっていた方が文章として落ち着く気がします。あまりに細かい字だと、メガネを外さないと、見えないという世界なのが残念です。

般若心経や、観音経(観世音菩薩普門品)などのお経も、書写してみましたが、書いていて精神が統一されるのは、論語とか、大学、中庸など中国の古典の方ですね。中庸は自分の名前の由来でもある書物なので、今まで何度もトライしていましたが、なかなか意味が取りづらく、理解できませんでした。実際に書いてみてようやく若干理解できる部分も出てきたかなと思っています。因みに、私の名前は、「誠は天の道なり。これを誠にするは人の道なり」という言葉から取られています。多分、私の父は大分背伸びをして、私の名前を漢籍から取ったのだらうと思います。読めない名前ということで、小中高と担任の先生方には評判は良くなかった名前かもしれません。

現在、書いているものは、王陽明の「伝習録」というもので、これまた、読もうとしても、理解が難しい代表選手のようなものですが、書いているうちにわかるようになるのではと、気楽に思い始めてから、コツコツと書き進めています。陽明学は孟子の発展形だと思うのですが、王陽明という人物の迫力が、文章からも伝わってきます。孟子も熱い人物ですが、この孟子・王陽明の系列は心が沸騰しているというか、明治維新の志士達を奮い立たせたのも、孟子と陽明学なので、さもありなんとと思わせるものがありますね。

顔淵問仁子曰克己復禮爲仁  
一日克己復禮天下歸仁焉爲仁

## 第2回 がん哲学外来市民学会大会

7月6日に東京・お茶の水にある、東京ガーデンパレスにて、第2回がん哲学外来市民学会大会が行われました。当日は、朝から午後5時過ぎまで、全国のがん哲学外来に関心の高い市民の方々、がん哲学外来、メディカル・カフェの関係者が集まり、活発な議論が交わされました。

午前のワークショップの司会を担当しましたが、各地の先進的ながん哲学外来の発表があり、クッキーを持ち寄ってカフェをしたり、自家製の小豆でお汁粉をしたり、音楽会をしたりと、単にお話を伺うだけでなく、なにかほのぼのとしたものを感じました。現在、28箇所のがん哲学外来、メディカル・カフェが開設されており、今後も急速に数が増えていくと思われます。

午後のセッションでは、国立がん研究センター理事長の堀田知光先生、がん研有明病院院長でがん対策推進協議会会長の門田守人先生、NPO法人グループ・ネクサス副理事長の多和田奈津子様、エッセイストの岸本葉子様、厚生労働省大臣官房技術総括審議官の三浦公嗣様という、日本のがん診療のご意見番ともいべき方々の、シンポジウムでしたが、多方面から様々な議論が出て、政策としてがん哲学外来を推進するのは困難な点はあるのですが、重要性に関しては共通の認識があり、今後、市民学会として草の根で当面、活動を盛り上げていくのが良いのではないかという結論となりました。



## 夏の家庭菜園

夏に入って、ぐんぐん野菜たちは育ってきました。写真では今年ナスは去年の「千両」から、「泉州水ナス」という種類に変更してみました。丸くてしっかりしたナスです。つやが良いです(自画自賛)。トウモロコシの花も咲いてきましたが、トウモロコシは気温が低いのかちょっと調子がイマイチです。

好調なのは、インゲンで、種から育てている割には、あっという間に大きくなって、沢山の花が咲いたかと思うと、次々に実がなっています。今年は、自家製のインゲンが様々に活用されそうです。

キュウリは、日曜に取りに行くと巨大化していて、40cmぐらいのジャンボキュウリにばかりなっていて、スーパーで売っているようなのは、取れたことがありません。子供にとっては大喜びです。



## MEMO

### 8月のがん化学療法科の予定

- 8月9日 柴田教授外来
- 8月23日 柴田教授外来
- 新渡戸稲造祈念 メディカル・カフェ
- 8月29、30日 日本臨床腫瘍学会のため、加藤、福田が交代で、休診させていただきます。

